

令和4年度  
神奈川県海外技術研修員受入事業  
最終報告書

Kanagawa Prefectural Government Program  
for Overseas Technical Trainees 2022  
The Final Report

神奈川県／公益社団法人 青年海外協力協会  
KANAGAWA PREFECTURAL GOVERNMENT,  
Japan Overseas Cooperative Association(JOCA)



2022年10月5日、県知事表敬にて、黒岩祐治知事を囲んで。

(前列両隣2名が海外技術研修員)

On 5th October 2022, at  
courtesy call to the prefectural governor,  
With Mr.Yuji Kuroiwa, Governor of Kanagawa Prefecture

# はじめに

---

## FOREWORD

2022年度神奈川県海外技術研修員受入事業の修了に伴い、「海外技術研修員報告書」をまとめましたのでここに報告いたします。

この事業は、地域からの国際貢献の一環として、神奈川県が開発途上国等の人材育成を支援するため、1972年から実施している事業です。今年度は2か国（タイ・アルゼンチン）から2名の研修員を受け入れ、受入数の累計は623名になりました。研修員は来日後約1か月間の日本語研修を行った後、それぞれの専門研修先で4か月間、技術習得に努めました。

この報告書は、各研修員が専門研修で学んだことや、日本滞在中に得た体験、印象等を簡潔にまとめたものです。研修員が研修先で学んだことを活かし、母国の発展のために精いっぱい力を注いでいくことを、私たちは心から期待しております。

また、研修員たちは日本の文化を学ぶ機会として様々な県内のイベントに参加し、多くの県民の方々の温かさに接することができました。県民の皆様との交流は、研修員たちの心にいつまでも残ることでしょう。ここに深く感謝申し上げるとともに、この事業を通して築かれた交流関係が今後とも継続され、それぞれの国・地域との相互理解が深められますことを願っております。

最後に本事業の実施にご協力並びにご厚意を賜りました多くの関係者の皆様に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

2023年3月

神奈川県

公益社団法人 青年海外協力協会

With the end of Kanagawa Prefectural Government Overseas Technical Trainees Program as of 2022, we hereby publish the "Overseas Technical Trainees Report".

This program has been carried out since 1972 by Kanagawa Prefectural Government as part of activity of international contribution by regions which is in purpose of supporting the development of human resources of developing countries. For this year, we accepted 2 trainees from different countries (Thailand and Argentina) of which add up to 623 in total. After arriving in Japan, the trainees underwent Japanese language training for about one month, and then spent four months at their respective specialized training institutes to acquire skills.

This report briefly includes experiences and knowledge of what each trainee had impressed acquired by the time in Japan. Please be informed that reports will only be published in Japanese and English version. We are strongly encouraged they could help developing their own countries by taking advantage of those they have acquired in training.

In addition, as an opportunity to learn Japanese culture, they have participated in a lot of activities such as prefectural events and had close communication with many friendly residents which they would never forget. Hereby, we would like to convey thanks and will for closer communication from county to regions going forward.

At last, it was much appreciated those who had help and support to this program. Thank you very much.

March, 2023

Kanagawa Prefectural Government

Japan Overseas Cooperative Association





# 目次

---

## **Table of contents**

2022年度 神奈川県海外技術研修員一覧	6
----------------------	---

List of Kanagawa technical trainees 2022

年間スケジュール	7
----------	---

Schedule

### 海外技術研修員 研修報告

Technical trainees Training report

サンプラパコン ティティマ (タイ)	10
--------------------	----

SANGPRAPHAKORN THITIMA (THAI)

シマブクロ メリサ エミリア (アルゼンチン)	13
-------------------------	----

SHIMABUKURO MELISA EMILIA (ARGENTINE)

アルバムから	15
--------	----

From the photo album

## 2022年度 神奈川県海外技術研修員一覧

### List of Kanagawa technical trainees 2022

氏名	国籍	研修先
Name	Nationality	Place of Training
サンプラパコン ティティマ	タイ	関東学院大学
SANGPRAPHAKORN THITIMA	THAI	Kanto Gakuin University
シマブクロ メリサ エミリア	アルゼンチン	横浜国立大学/横浜デザイン学院
SHIMABUKURO MELISA EMILIA	ARGENTINE	Yokohama National University / Yokohama Design College

# 年間スケジュール

## Schedule

2022年9月	来日 Arrival in Japan
	オリエンテーション、区役所・銀行手続き、健康診断、二俣川駅周辺見学 Orientation, procedures at municipal office and at a bank, health checkup, field trip around Futamatagawa station
	日本語研修開始 Japanese language lessons
10月	知事表敬 Courtesy call to Kanagawa Prefectural governor
	専門研修機関との打ち合わせ Meeting at professional training organization
	日本語研修課外授業 Supplementary Japanese language lessons
	日本語研修最終試験 Final exam (Japanese lessons)
11月	専門研修開始 Commencement of professional training
	日本語研修補講① Supplementary Japanese language lessons②
	日本語研修補講② Supplementary Japanese language lessons②
12月	あーすフェスタ参加 Participate in Earth Festa
	京都奈良大阪研修旅行 Training trip to Kyoto, Nara and Osaka
2023年1月	初詣 Visiting Shrine on New Year day
	鎌倉・江の島見学 Field trip to Kamakura and Enoshima
	日本語研修補講③ Supplementary Japanese language lessons③
	日本語研修補講④ Supplementary Japanese language lessons④
2月	恵方巻体験 Setsubun event and eating Futomaki
	日本語研修補講⑤ Supplementary Japanese language lessons⑤
	河津桜花見 Cherry-blossom viewing



3月	日本語研修補講⑥ Supplementary Japanese language lessons⑥
	修了式 Graduation ceremony at Kanagawa Prefectural Government office
	最終報告会 Final Presentation
	銀行、区役所手続き Procedures at bank and municipal office
	帰国 Returning to home country



## サンプラパコン ティティマ

勤務先：首都圏水道局/タイ

研修分野：水質検査・水質管理

研修機関：関東学院大学

Name：SANGPRAPHAKORN THITIMA

Employment：Metropolitan Waterworks Authority (MWA)

Training Subject：Water quality inspection, Water quality control

Place of training：Kanto Gakuin University

### 1. 専門研修の成果

本プログラムでは以下のような多くの知識とスキルを身につけました。

- 1.1 ナイルレッド染色蛍光顕微鏡による日本の水道水に含まれるマイクロプラスチック（以下 MP と略）分析に関する研究。プロセスは次のとおりです。
  - 1.1.1 MP に関する文献レビュー
  - 1.1.2 MP 分析のための最適な手法の開発
  - 1.1.3 開発した手法を用いた日本各地の水道水に含まれる MP の分析
  - 1.1.4 全国から 29 のサンプルを分析、日本の水道水中の MP の平均濃度は、1 リットルあたり 0.30 粒子ということが解りました。
- 1.2 ケトルからの MP 分析に関する研究をしました。ケトルからの MP の最大濃度は、1 リットルあたり約 600 粒子でした。
- 1.3 FTIR 法(フーリエ変換赤外分光光度計)による MP 分析
- 1.4 水質検査装置
  - 1.4.1 液体クロマトグラフ質量分析
  - 1.4.2 ガスクロマトグラフ質量分析
  - 1.4.3 誘導結合プラズマ質量分析
  - 1.4.4 フーリエ変換赤外分光法
- 1.5 水処理システム
- 1.6 水源システム

1.7 顕微鏡技術、水道水のサンプリング、溶液調製、実験機器の操作などの技術

## 2. 帰国後の活動

### ・研修の成果を職場で活かす方法

このプログラムで得た知識とスキルを現在の業務に応用できるよう、溶液の調製、実験機器の操作方法、およびマイクロプラスチック、ハロ酢酸、重金属、異物などの水質検査に関するさらなる研究を行います。これらの研究の際、このプログラムで得た技術を活用します。

また、水質部門でプレゼンテーションを行ったり、職場の情報管理システムで記事を書いたり、学生研修生をトレーニングしたりすることで、水質検査と管理に関する知識や情報を他の人と共有します。

### ・神奈川県や研修機関との関係を継続する方法

KANAFAN のサイト、神奈川県の PR、タイの元研修生の集まりに参加します。参加後も連絡を取り合い、オンライン会議やセミナーに参加し、水質に関する情報交換を行います。

## 1. Results of the specialized training (Water Quality Testing and Management)

I've gained a lot of knowledge and skills as follows:

1.1 Research about Microplastics (MPs) analysis in tap water in Japan by Nile red staining fluorescence microscopy. The process is as follows:

1.1.1 Literature Review about MPs

1.1.2 Find the optimum method for MPs Analysis

1.1.3 Using the developed method for MPs Analysis Experiment in Tap Water in many places in Japan

1.1.4 Calculate the concentration of MPs in Tap water in Japan. From 29 samples, the average concentration of MPs in Tap water in Japan is 0.30 particles per liter.

1.2 Research about MPs Analysis from Kettle. The maximum concentration of MPs from the kettle is about 600 particles per liter.

1.3 Microplastic analysis by FTIR technique

1.4 The instrument for Water Quality Testing

1.4.1 Liquid Chromatograph Mass Spectrometry

1.4.2 Gas Chromatograph Mass Spectrometry

1.4.3 Inductive Coupled Plasma Mass Spectrometry

1.4.4 Fourier-Transform Infrared spectroscopy

1.5 Water treatment system

1.6 Water source system

1.7 Laboratory skills such as microscope skills, tap water sampling, solution preparation, instrument operation, etc.

2. Activities after returning to home country

- How to utilize the training results at the workplace

I will apply the knowledge and technical skills acquired from this program to my current work such as using techniques for solution preparation, instrument operation, and further research about water quality testing such as Microplastics, Halo-acetic acid, Heavy metals, and foreign substances. And I will share knowledge about water quality testing and management with others by presenting in the water quality department, writing articles in the MWA's knowledge management system, and training the student trainee.

- How to continue relations with Kanagawa Prefectural Government and the training organization

I will join the KANAFAN website, PR of Kanagawa Prefecture, and the gathering of former trainees in Thailand. I will utilize technology to stay in touch, attend online meetings and seminars, and do water quality network.



## シマブクロ メリサ エミリア

勤務先：フロレンシオバレーラ日本語学校

研修分野：日本語教授法

研修機関：横浜国立大学／横浜デザイン学院

Name：SHIMABUKURO MELISA EMILIA

Employment：Florencio Varela

Training Subject：Japanese Language Teaching Method

Place of training：Yokohama National University/Yokohama Design College

### 1 専門研修の成果について

#### 【学んだこと】

- 生徒のモチベーションを持たせ続けるために様々な工夫や、面白い活動を学びました。
- 各見学した授業で教科書が紹介していて、それらが授業でどのように使われているのかを学びました。
- 学生に新たな語彙を説明するときに諦めずに通訳するのではなくて簡単な日本語を使って説明すること。そして、それらをいつ母語を通して教えるべきかを見分けることが身につきました。
- 文法や表現を紹介するときに大切なポイントはたくさん例文を紹介することや、教科書の例だけではなく学生の環境に沿った適切な例を出すことが重要であることに加え、授業前のウォーミングアップでは日本語と関係ない他のテーマを使うことも重要であることを学びました。
- 漢字の書き順を覚えるためにとても有効な方法を学びました。簡単な漢字から学び始め、次にその簡単な漢字が部首として入っている漢字を学ぶ。例えば「吉」を紹介すれば、その次に「結」を紹介します。
- 漢字を教えるときに文字だけでなく語彙や文法を教えられることに加え、書き順を対面授業で直す大切さを学びました。
- 毎週のテストと課題提出の大切さに気付き、小さな積み重ねが大事だと分かりました。学生がなるべく毎日少しでも日本語を勉強する習慣を身に着ける教え方が大事だと思いました。
- 学生の環境を考えて日本語を教えることが大事だと分かりました。
- 教案を作るのは大切ですが、それ以上に学生の様子を見るのがもっと大事だと学びました。
- テーマを紹介するときに先生が全てを説明するのではなく、学生が一人で文法の使い方を推測する指導を学びました。
- 学生が答えるまで待つ大切さを学びました。スピーチをするときに学生が体を使って表現を表しているのか、発音が綺麗なのか、スピーチの中できちんとポーズを入れているのか、内容が興味深いか、使っている文法や単語のレベルが高いか、客との交流が出来ているのか、表現力があるのか、など、スピーチの重要な点を学びました。

#### 【今後】

- 単語と会話を学ぶ時はまず、先生が言葉や会話を言い、学生が何回もそれをリピートする。リピートする度

に発音だけではなく、なるべく日本人が話す速さと近づくようにするようにします。

- 練習をするときに、優しい質問から始める方法。まず「はい、いいえ」で答えられる質問をし、学生が内容を理解しているかどうかを確認します。次に文を完成しなければならない問題をだし、アウトプットを求めます。最後の段階で学生は今までの積み重ねたものを応用し、文を作るという練習をします。
- もし新たな文法が前で習った文法と関係していれば必ず前の文法を復習してから、新しいテーマを紹介します。
- 学生がプレゼンテーションをするときに他の学生にクラスメートの発表について質問をします。この方法だと学生がきちんとクラスメートが聞いていたかどうかを確認、学生が内容を理解したかどうか確認されます。
- 学生にきちんと練習時間を与えます。

## 2 帰国後について

### ・研修の成果を所属機関でどのように生かすか

- カリキュラムの変更  
今までの授業では日本語を実際に使うための機会を作っていません。これからはインプットを中心として考えず、アウトプットを中心にしていきます。これを元にして日本語学校のカリキュラムを変更し、学生が新たな文法を学ぶ度にそれをアウトプットできる機会を作ります。
- 教科書の更新  
私の学校の教科書をより良いものに更新します。
- 学生のモチベーション  
研修で学んだ工夫を活かし、学生のモチベーションを上げます。  
例えばトピックの授業で学んだ「学生が先生の役となり」という思考を使い、学生が自分の考えや欲求を話し、それを先生が日本語の学習に組み合わせます。

### ・神奈川県や研修機関との交流をどのように継続するか

- 普及  
神奈川県の研修で得た知識を普及します。まず自分の同僚と地域の日本語学校教師に伝えます。それからアルゼンチンで行われる全国日本語教師研修大会というイベントにおいて、日本語教師が集まるところを借りて学んだことを発表したいです。
- 神奈川青年部  
アルゼンチンで神奈川青年部があり、私も一員になります。そして皆さんに神奈川県で経験したことについて話をし、これからの研修に参加できるようにサポートをします。
- 神奈川会  
アルゼンチンにいる神奈川県のコミュニティーの活動に積極的に参加します。そして私も一員として活躍します。
- 神奈川ファンページ  
神奈川県の研修期間で私たち研修員は神奈川ファンページで研修の経験について神奈川の国民とシェアしてきました。

# アルバムから

## From the photo album

来日時オリエンテーション

Orientation



日本語研修・課外授業

Japanese Language Lesson



知事表敬

Courtesy call to Kanagawa Prefectural governor



あーすフェスタ

Earth Festa



京都奈良大阪研修旅行

Training trip to Kyoto, Nara and Osaka





初詣

Visiting Shrine on new year day



鎌倉・江の島見学

Field trip to Kamakura and Enoshima



河津桜花見

Cherry-blossam viewing



修了式・最終報告会

CG graduation ceremony and final presentation



編集 公益社団法人 青年海外協力協会

住所：神奈川県横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1あーすぷらざ内

TEL：045-392-8837

発行 神奈川県（2023年3月）

Edited by Japan Overseas Cooperative Association

Address：1-2-1Kosugaya-sakaeku Yokohama-shi

Kanagawa JAPAN

TEL：045-392-8837

Published by Kanagawa Prefectural Government, March 2023